♪♪♪♪♪♪♪♪

統合失調症を患う母とともに生きる子ども

～番外編⑫～

ねむの葉

♪♪♪

松岡園子

　これまで小説風に自分の体験をつづりながらこの連載を続けさせていただき、そろそろ物語のまとめに入らせていただこうと考えております。そう考えてはいるものの、なかなかうまくまとまらず、まとめの物語はまだご紹介できませんが、今号では私が母を思いながら書いた詩を載せさせていただきたいと思います。

＊＊＊

ねむの葉

朝　目覚めたとき
天を見つめ
手の指を
ひらいて　とじて
足首をまわす

昨日とちがう自分に
なったって良いのに

昨日の自分は
どんな形だったかと
思い出そうとする

何も
忘れていないことに
安心して

今日も
同じ形を
続けようと起き上がる

＊＊＊

夜になると葉を閉じ朝になるとまた葉を広げる、ねむの木の葉。
それが母のそばにいる私の姿に似ているなぁと思い、この詩をつくりました。
なぜか昨日と同じということに落ち着いてしまう自分に、いつだって違う自分になったっていいよと言ってあげたいです。